

くじらがいげ

しづはた営農経済センターだより

静岡市葵区下1459-1 電294-9330

令和4年7月14日発行

センター長	茶	蔬菜・莓・水稻	果樹	購 買	女性部
漆畠	折山・平野	望月星	伊藤	山下・正込・森	市川惠
配送	加藤	昭府地区担当	市川肇	大河内地区担当	川島
				梅ヶ島地区担当	望月達

【農園での窃盗事件が発生しています!】

本年、JA 静岡市管内の農園にて農業機械や防霜ファンの制御盤の配線が盗まれる事件が発生しています。自身の圃場や農機具に被害が発生していないか今一度ご確認下さい。被害があった場合、警察への被害届や施工業者等への連絡をお願いします。
犯行は夜間に行われていると想定されますが、万一怪しい人や車両等を見かけた場合、まずは自身の安全を確保した上で警察に通報して下さい。

茶 ☆母枝の充実のために、遅い・深いナラシにご注意ください☆

《1番茶後更新園の整枝》※日数より芽の大きさを優先して下さい。

時期 再生芽が平均15cm(5~6枚)になり葉色が濃くなり茎が茶色で木化した頃、更新後60日。
(7月末までをめどとする)

位置 更新した位置より5cm程度(2~3枚残す)上で整枝して下さい。

※生育が悪い場合は、樹勢回復を優先して、整枝をせずに秋までおいてください。

注意

整枝時期の遅れ・整枝位置が深いなど関係し、葉焼けの被害が多い茶園が見受けられます。

対策 … 樹勢を充実させる為に秋整枝作業を10月下旬とし、葉層が確保でき着葉密度がある位置で整枝を行ってください。

防除

もち病や枝の輪斑病が発生すると来年度の収量に影響しますので防除の徹底をお願いします！また、お盆前にはハマキムシ類の防除をお勧めます。

◎3茶萌芽期～1葉期 コルト顆粒水和剤でチャトゲコナジラミの同時防除を

炭そ病・もち病・新梢枯死症	フロンサイドSC	2,000倍	混用	14日
ウンカ・スリップス	コルト顆粒水和剤	2,000倍		

※フロンサイドは皮膚に付着するとかぶれる可能性があるので、気になる方は、代わりに、ダコニール1000 1,000倍（10日）を散布ください。

◎3茶2葉～3葉期 ハマキ類の発生に要注意！

炭そ病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	混用	7日
ウンカ・スリップス・ハマキムシ類	エクシレルSE	2,000倍		

※1番茶期に葉層の表面に落葉が見える症状は褐色円星病ですので、この時期は必ず褐色円星病に効果がある薬剤を使用ください。

◎クワシロカイガラムシ（第2回目発生）しっかりと対策しましょう

時 期 7月中下旬（営農センターに枝を持ってきていただければ、防除適期を確認いたします）

散 布 スソから樹幹帯附しきりかかる程（目安：1,000ℓ/10a）

薬 剤 アプロードエースフロアブル 1,000倍 または、コルト顆粒水和剤 2,000倍

※5・6月の1回目に発生が多かった園は、2回目の発生も多いと予想されるので必ず防除をして下さい。

◎マダラカサハラムシ被害にご注意を！

マダラカサハラムシは、成虫が若葉に1mm前後の穴を開け、また新梢の柔らかい枝や葉柄を食害し、ポキッと折ってしまいます。被害が見られる場合は、防除をお願いします。

防除適期：7月～9月（3茶生育期）

登録農薬：劇コテツフロアブル（2,000倍）、劇ハチハチ乳剤（1,000倍）

ダントツ水溶剤（2,000倍）、エクシレルSE（2,000倍）



体長約4mm

◎ハマキムシ類 8月お盆前には1回必ず防除！！

ハマキムシ類 (ヨモギエダシャク)	ファルコンフロアブル	4,000倍	単用	7日
----------------------	------------	--------	----	----

※防除適期を逃した場合は、アファーム乳剤 2,000倍 7日を使用して下さい。

※若齢幼虫は葉の裏面から表皮を残すように食害するので、防除の目安にして下さい。

※ファルコンは脱皮促進剤なので若齢幼虫期までの早期防除に努めて下さい。

※8月下旬～9月上旬にもう1度ハマキムシ類の防除を行うと、より効果的です。

営農実態調査にご協力ください。

7月の訪問日で、毎年、農協で実施している営農実態調査をお配りします。

農地面積の調査となります。農業振興計画を立てる際の指標となるため、ご協力よろしくお願いします。面積など変更がない場合でも提出をお願いします。

締切：8月19日（金）までに しづはた営農経済センター又は最寄りの支店・事務所へご提出ください。

農業用 廃プラスチック回収予定です

部農会回覧にて「農業用廃プラスチック回収予定、及び回収方法について」という通知をお配りしました。下記のとおり、廃プラ回収を実施予定ですのでご利用ください。

日時：11月中下旬 品目：農業用ポリ…肥料袋、マルチ、農POマーク有、農薬の空ポリ・空袋等

日時：12月初旬頃 品目：農業用塩化ビニール（塩ビ）…農業用ハウスビニール、農ビマーク有り等

申込があった方へ「委任状」をお配りします。委任状は、農協へ提出下さい。

組合員鮎釣り大会 開催予定

本年の組合員鮎釣り大会につきまして、新型コロナウイルスの情勢によりますが、開催を前向きに検討しております。

開催が決定した場合は、前回参加者へ通知致します。ご承知おきください。



いちご

長雨明けの急激な晴れや高温は苗に対する大きなダメージになります。灌水量の確認だけでなく、遮光資材や遮熱資材を使うなど高温対策をとるようお願いいたします。また、体調管理に十分注意したうえで、作業されますように重ねてお願い申し上げます。

《育苗》

1、育苗管理 「炭疽病の恐れがある株は早期に除去しましょう。圃場は毎日一回りです。」

- 切り離しは先端を止め、親株を切り離し、太郎から順番に切り離していくことで子株に対するストレス軽減につながります。(数日に分けて切り離しましょう。)
※最終ポット受けから20日間は切り離ししないようにしましょう。
- 8月上旬までに切り離しを行うのが理想です。(切離後育苗日数:40日~50日)
- 切り離し後にはIB化成S1号を施用(1粒/小型ポット)
- 切り離し後、苗をそろえるよう常時2~3枚を目安に葉かきをする(定植時は4~5枚)。
- 苗の間隔をとり、風通しをよくする。
- 急激な晴れや、高温の時間帯には寒冷紗をかけると良い。
- ハウスに外から塗布するタイプの資材(レディヒートなど)をお勧めです。



2、育苗圃防除ローテーション(先月号の続き)

時期	薬剤	RAC	倍率	主な対象病害虫
8月	第1週 (31日~6日)	ジマンダイセン(水)	M3	600倍 炭疽
		エコピタ(液)	—	100倍 ハダニ・うどんこ・アブラムシ
	第2週 (7日~13日)	オーソサイド(水)	M4	800倍 炭疽
		バロック(フ)	10B	2,000倍 ハダニ
	第3週 (14日~20日)	セイビア(フ)	12	1,000~1,500倍 炭疽、灰カビ
		ピラニカEW	21A	2,000倍 ハダニ・うどんこ・ア布拉ムシ
	第4週 (21日~27日)	ベルクート(水)	M7	1,000倍 うどんこ・炭疽
		カスケード(乳)	15	4,000倍 ハスモンヨトウ・アザミウマ
	第5週 (28日~3日)	ファンタジスタ(顆水)	11	2,000倍 炭疽
		コルト(顆水)	9B	3,000~4,000倍 ア布拉ムシ・コナジラミ

※高温時の薬剤散布は薬害に注意してください(なるべく避ける)

3、コガネムシの防除

本圃定植前にコガネムシの防除をしましょう。

お勧め農薬	使用方法	使用時期	使用倍率	回数制限
ダイアジノンSLゾル	育苗ポット灌注	ポット育苗時	500倍 (1000ℓ/10a)	1回
	全面土壌混和	定植前(本圃)	25倍 (100ℓ/10a)	1回

※成分の「ダイアジノン」については総使用回数が2回までとなっています。

4、子株の肥培管理

置き肥の場合、9月の上旬に肥効が切れる様に管理して、その後は液肥にて管理するのが望ましいです。葉面散布の場合は3日間隔程度で施用しましょう。

8月下旬までは硝酸態窒素濃度200~250ppm程度を保つように管理をしましょう。

※9月上旬からは硝酸態窒素濃度50~100ppm程度で管理しましょう。

水稻



1. 穂肥の施用

- 穂肥を施用し3~5日間湛水する
- 出穗18日~25日前で葉色3.5~4.0を目安
- 一発肥料では3日早く入水して肥料を効かせる
- 時期がきても葉色がさめない場合は減肥する

品種別特性一覧 普通栽培6/1田植え

品種	穂肥時期	出穂時期
きぬむすめ	7/27・8/3	8/18
あいちのかおりSBL	8/3	8/25
にこまる	8/1・8/10	8/26
葵美人(もち)	7/28・8/4	8/23

2. 水管理

- 出穗前25日~10日は、3日おきに湛水と落水を繰り返す
- 穂ばらみ期~出穂期は3~4cmの深水とする

◎高温障害による白未熟米・胴割粒の発生に注意!!

- 出穂以降の間断かん水、かけ流しにより、地温が高温になりすぎないように努める
- 早期落水は白未熟粒等の高温障害や胴割粒の発生原因となるので絶対行わない
- 胴割粒は収穫が遅れると増加するので、適期収穫に努める

3. 病害虫防除

液剤体系の場合

早生 7月下旬頃	ウンカ、コブノメイガ	トレボン(乳)	1,000倍	14日-3回
紋枯病	モンカット(フ)	1000~1500倍	14日-3回	
中生・晩生 8月中旬頃※	穂いもち	ダブルカット(フ)	1000~2000倍	穂揃期まで-2回
早生 8月中旬頃	ウンカ、カメムシなど	キラップジョーカー(フ)	1000倍	14日-2回
※カメムシの多い圃場では、キラップジョーカー(フ)に代えてスタークル顆粒水溶剤(2000倍・7日-3回)を散布してください				
中生・晩生 8月下旬~	穂枯れなど	プラシン(フ)	1000倍	7日-2回

粒剤体系で行う場合、先に水をためてから散布する。また液剤より3日ほど早めに散布すること

ウンカの発生が多い場合はエミリア(フ)の散布がおすすめです

※中・晩生品種で紋枯病やウンカの発生が懸念される場合は7月下旬に防除を行う

野菜

- 高温時の薬剤散布は薬害が生じる恐れがあるため、早朝や夕方の防除を心がけましょう
- トマトの尻腐れ対策:カルシウム資材の葉面散布が効果的です →花が咲いた頃が適期カルシウム資材を使っていても水不足、根痛みでも発生します。気をつけて管理をしましょう

～冬野菜の準備が始まりました～

- ゆとりのある作付け計画を立ててください
- 結球野菜は播種および定植遅れが、生育不良や結球不足につながります



農薬購入時には印鑑を!

毒劇物に指定されている農薬は劇と表記しております。購入の際には必ず印鑑(認印)をご持参ください。

《柑橘》

極早生品種については8月中旬までに仕上げ摘果を実施してください。中晩柑類は大玉生産するため、内なり果・スソ果を中心に摘果し、不知火・はるみは8月上旬、スルガエレガントは8月中旬までに仕上げ摘果を完了するようにして下さい。特に、「はるみ」のベタ成りで葉が黄色くなっている樹は早急な摘果と施肥（ダブルクイックS550 1袋／10a）を実施して下さい。

☆品種別摘果目安

極早生	葉果比20枚に1果	内裾成り果・小玉果・傷果・奇形果を摘果する。 特に中晩柑類は、直花果の肥大が鈍いので、摘果する。
スルガ	葉果比100枚に1果	
不知火	葉果比100枚に1果	
はるみ	葉果比120枚に1果	

早生・青島は、ベタ成り樹のみ荒摘果を実施。仕上げ摘果 9月上旬に実施。（葉果比20～25枚に1果）

◎防除管理

☆温州ミカン

防除時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	防除基準
8月上旬	チャノキイロアザミウマ黒点病	アクタラ顆粒水溶剤 ペンコゼブ水和剤	2,000倍 600倍	14日～3回 30日～4回

※浮皮軽減・日焼け防止対策として、バイカルティ1,000倍を加用散布すると効果的。

☆中晩柑類

防除時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	防除基準
8月中旬	チャノキイロアザミウマ黒点病	アクタラ顆粒水溶剤 ペンコゼブ水和剤	2,000倍 600倍	14日～3回 90日～4回

◎施肥管理

8月下旬	スルガエレガント	スルガペレット	3袋／10a
	はるみ・不知火	新FTE S604	2袋／10a

カメムシ類の発生が見受けられますので、注意して下さい。防除する場合は、カメムシが飛立たない早朝に行いましょう！

《落葉果樹》

◎防除管理

対象作物 防除時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	防除基準
ハウスいちじく 8月中旬	さび病	トリフミン水和剤	2,000倍	前日～3回
いちじく 8月	アザミウマ類 疫病	スピノエース顆粒水和剤 ランマンフロアブル	5,000倍 2,000倍	前日～1回 前日～3回
ぶどう 8月上旬 (収穫前)	さび病	ラリー水和剤	2,000倍	前日～4回
柿 8月上旬	チャノキイロアザミウマ ベと病	ダントツ水溶剤 ICボルドー66D	4,000倍 50倍	前日～3回 — — —
	ハダニ類	コロマイト水和剤	2,000倍	7日～2回
	フジコナカイガラムシ カキノヘタムシガ	劇モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	前日～3回